



次の辰年まで元気で!

山口節子さん (上荒屋)
昭和15年生まれ

私は旧島海町出身で、中学を卒業後、象潟にきました。結婚して、子育ても一段落した頃「飲み屋のかあちゃん」になりました。7年前に亡くなった連れ合いも「やってみれ」と言ってくれたのです。

それから35年。続けてこられたことは、我ながらよくやってきたと思っています。いろんな人と出会い、景気が良い時代、悪い時代も経験しました。客も代が替わって、その息子たちが客に多くなりました。飲み助たちの気質は変わりません。かわいい子どもたち…

辰年生まれはきかない(気性が荒い)と言われます。最近少ないですが、悪い酒飲みは追い返します。この気性は変わりません。いつも「今の自分が一番良い」と思って生きてきました。次の辰年まで元気でいられますように!



今年も明るく元気に

渡辺郁子さん (北金浦2区)
昭和27年生まれ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私の1年の始まりは、家内安全と我が家の船「海棠丸」の大漁祈願から始まります。

伝兵工の屋号で親しまれている渡辺家の15代目を引き継ぎ、母サダ子の味「でんべいかれい」も家族の大切な宝となっています。

漁を通し食に携わる仕事は、日々私の毎日を充実させてくれて、私の人生を豊かにしてくれています。そして、多くの方々との出会いによって、まだまだ勉強不足な自分を感じながら、感謝の気持ちでいっぱいの日を過ごしています。

漁業の低迷が心配されていますが「金浦の魚が美味しいのは、底曳き網漁で頑張る夫や息子たちが捕っている魚だから」と自慢しています。

健康第一!家族の笑顔と共に今年も生き生きと、私らしく生きたいと思っています。

年男・年女 新年の 抱負



龍の如く

矢野稔さん (室沢)
昭和39年生まれ

十二支の中で唯一、実在しない干支が『辰』です。先人が龍を選んだのは、深く尊い意味があるのではないのでしょうか。大震災に見舞われ甚大な被害を受けながらも「絆」を合言葉に、日本中が明日を信じて、それぞれの立場で頑張っている。今こそ、龍が天に昇るように、復興に向かっていく年であってほしいと思います。

バブル期に、その立役者である証券マンとして東京で過ごし、絶望感の中、地元に戻り小さな店を始め、只々、日々の生活に追われる生活を繰り返すだけの道のりでした。それが近頃、いつか若い人を育ててみたいと思うようになりました。いささか年を重ねた証拠かなと自答しています。

人生の下り坂とは思わず、まだまだという気持ちが、微力でもきっと復興の礎になるものと信じています。



笑顔あふれる1年を

佐々木泉さん (横根)
昭和51年生まれ

15,000人以上もの死者をもたらした東日本大震災。昨年は命の尊さ・人と人との絆について改めて考えさせられた1年でした。

震災から2週間後、わが家には第三子が誕生しました。震災により、どれほどの小さな命が奪われたかを考えると、幼い子を抱える者として今でも心が痛みます。と同時に、3人の子どもたちが日々健康に過ごし、家族で笑いあう、「普通の毎日」の有り難さ、幸せを身にしみて実感します。

仕事、家事、育児…目の回るような日々ですが、家族や社会に支えられ今の私が在ります。

忙しさの中に埋もれがちながら、幸せと感謝を感じながら、笑顔あふれる1年を送りたいと思います。



チームのみんなで

阿部滉平さん (上町1区)
平成12年生まれ

ぼくは、野球が大好きです。秋に新チームのキャプテンに選ばれました。最初は正直心配でしたが、チームのみんなと毎日一生懸命練習して、その心配はなくなりました。

新チームになってから2つの新人戦があり、最初の大会で負けてしまったチームに、次の大会でリベンジして優勝し、県大会に行くことができました。でも県大会準決勝の「最終回2アウトランナー2塁」の場面で、ぼくは最後のバッターになってしまいました。キャプテンとしての役割を果たせず、とても悔しかったです。もっと上に行くためには、あの場面で打たなくてはならないと思いました。

今年は6年生になります。キャプテンとしての役割をしっかりと果たして、去年の悔しさを忘れず、グラウンドでおもっきりプレーし、また優勝して県大会に行きたいです。そして、チームのみんなとあの喜びをもう一度味わいたいと思います。



絆を大事に

齋藤雅央さん (小滝)
昭和63年生まれ

私は今年で2度目の年男ですが、成人してからは初めての辰年です。

昨年はいろいろなことがありました。忘れてはならないのは、3月11日の大震災。この震災で日本は多くのものを失いました。被災者は家族、友人、住む家、大事な思い出を一瞬にしてなくしてしまいました。大きな傷が残ったはずですが、それに負けないものが深まったと思います。

それは絆です。人と人との絆は本当に強いものだと感じさせられました。私も、昨年は人の絆というものに助けられました。

これから、私自身もいろいろな場面で責任を果たすべき時期になります。1人だけで悩まず仲間と助け合い、一緒に乗り越えたいと思います。今年は、よりスキルアップを目指し、少しでも成長できるような1年にしたいです。



りゅう・竜・龍・(辰・たつ) …



想像上のいきもの。昔から、多くの物語に登場し、雲を呼び天へ駆け昇り、時に口から火を噴き、雷や嵐を起こす霊力があると崇められてきました。勢いを得た竜のように、ダイナミックかつエネルギッシュな年にしましょう!